

東郷市浦井木下樂館

▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

營業要目

- 船舶機関、汽機、高圧無點火重油機關、高速輕油機關、タービンポンプ、セントリフューガルポンプ、一般揚水排水ポンプ、工業上の相談及工事上の設計監督

大阪府西成郡鷺洲町大仁一六五(阪神電車北大阪線大仁)
(新道停留所北久丁)

大阪機械工作所

電國土佐堀二七八九番

所長 技師 石光眞俊
(舊姓大隈)

支店 技師 鶴澤一作
工務部長 技師 市川克己
船機師 技師 仙波修三
問機師 工學士

特約販賣店

名古屋市東區富士原町 大隈鐵機商會
佐賀市點合町 鐵機商會
德澤鐵機商會

▲技術者のみを以て組織せる理想的工場▼

體育保全

フェロール

補血營養

非常の美味

非常の滋養

飲むに従ひ

強壯となる

各病院諸大醫賞用

葡萄酒以上の美味にて
アルコール分を含有せず
御婦人達小供衆に適當

本館 大阪道徳町

小西久兵衛

●實捌各藥店にあり◎實捌店なき地方は本館へ御用命願上候

強壯

新劑

理店

京城南大門通 新井藥房 釜山縣天町 大黒藥舖 安東縣市場 井上下藥舖
同 太平通 キムラ藥舖 元 山崎港 石田海生堂 一 安東縣市場 井上下藥舖

一食糧所有の畜産が各多期飼料の給與不足に營養不良を起し、陥りて▲秋期劇役に服し疲勞尙快復せず、内冬多期飼料一層不足し、(二)營養不良の續を屬なき牛舎に繋養せざるもの、(三)山華嶺二郡地方の貧賤なものを、

▲憲兵隊の部署は當時も、かも隊署長會議の爲め所定の如く、將校の参加を許さざるも、統監部に

達を爲しつゝありや、其の構
は如何、操縦術は如何、
之れが軍艦の如く汽船の如く
を聴く事が出来るのである、斯
の如き大講演は今日の機会
を失してよく之れを聴く事は出来

原因
 大阪不
 電通したる大阪不
 爲めにして大阪不
 ともいふべきは現在既
 車番に文は殆ど小口物
 常業者有炭中の

如く、鮮盆前に於て、
 奥地の盆地に際する一面に
 地方共國を組織し共進會
 上に著る者も切らざる有様
 手に持て、又、因と

▲受米移出説
に就て種々の臆説が布せられたる今
今確なる筋より聞くに該受米は
店探氏の幹旋にて大抵精々筋と
患の愈調談の運び

小賣白米

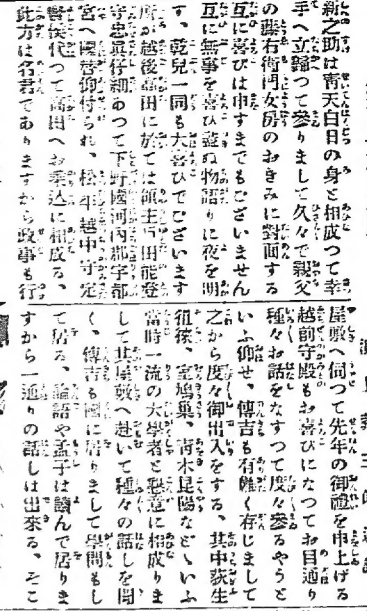
贊化病民
 目丁二間本城京
 番四二話電
 院 醫

便。血液。咯痰等症。

城憲治
的検査の依

第一百六十九席

桃川如燕口演

[illegible][illegible]

又青木見陽と相談をして樂草の栽培を我培しに成績が宜い所から上へ申上げて小石川に土地を買置いたし、之盛んに植物を増植いたしました。之を小石川御樂園と申します。只今の植物園の事でございます。此外傳吉は養蠶及び製糖の家を起しまして非常に殖産興業に盡力いたしました。されば後に至つて吉宗公の御目通りを許され、改めて士分にお取立に相成り二百石を賜はりました。傳吉の停柩之時は父の跡を繼いで益々典藥殖産に力を盡す、傳吉は村へ歸つて村内の者を集めまして「傳」さて皆さん毎度申上げる様でございますが觀儉といふことは何より大切にこそで家を興すと云はずも當さんの心懸け次第でございます。昔北條相模守時頼公が執權であつた時に菅原左衛門藤綱といふ奉行があつて非常に儉約としたしました。

O.T.Y.I

演藝案内

水主王（原名秀松）全三演劇名家の選考會中流儀シムスに格別身並美満有る後クダグエの手口變幻が絶えず最良なる趣味味を呈現する可なり
○役者百代の現場観望の比非ず 決然此處作品にて四國各戲院との比非ず 天狗堂の演劇に於ける得たる古典眼力富ん余餘數を誇ると言へる下町仁助氏の奇麗な身振りを以て開演後第一に大歡迎を得たり（先づ此地に引續き居る兄の五藏より兩名家名譽ある人物の趣意を察せ見るから一喝喝の生聲？實手？）

新築落成 電話二六六一有樂館
本町一丁目
今般無難住月一日より開張仕舞ひ奉り
土曜日開可仕舞何卒臨幸願ひ候下座敷上等

九月三十日 京成奈良丸九會
▲常十郎十一月初日の贈物▲金森淳太郎（吉田花若）▲勳進艇▲吉田日の丸（▲久間記（廣澤正徳）▲古田大次郎（吉田友紀）▲天坊吉田常老（吉田田久親）
▲天神屋兵衛 吉田奈良丸 ▲野島の東下り
▲天竺船正丁更替日間遊覧電車會に御用而して井田一氏等共同遊覧電氣電話五〇八號入場料一等圓二角五分二等圓三角三等圓四角半小價附設

賞試を博せるマラリヤ持効丸本年は例年の倍數製劑候補侯八月末に全部賣盡し更に多數製劑納仕候補様に是れ全く各位貴客の御愛顧の賜と深く御禮出述候向此上品品質本意主旨とする當房各製劑品マリヤ持効丸同一に御引用立

防 學 相 規 錢 總 三 堂

本年

石 均 最 精 選 せ ば 料 料 熟 練 せ ば 一 技
 甲 乙 均 所 入 念 入 念 入 念 入 念 入 念
 大 引 換 廿 五 新 創 土 廿 五 三 九
 水 系 一 足 五 引 換 廿 五 新 創 土 廿 五 三 九
 引 換 一 足 五 引 換 廿 五 新 創 土 廿 五 三 九
 東 京 市 本 總 區 東 片 町 九 二 三 九



第五號二吋廿五錢均一
 第二號二吋四十五錢均一
 第三號特別製七十錢計者

觀切町零
 客室光備
 平權大和町

東洋ホツクズ製襪上靴
 第一號一四九錢均一
 第二號一四九錢均一
 第三號特別製七十錢計者

松岡旅館

電話三〇五五

日時二
 日午後六時開會

會場

於壽館

外拾數名

六月
 を以て又復た畏くも
 皇太后宮藏御用
 の恩命を賜はれり
 謹みて其の光榮を録し奉る

レトロフーード

で化粧の方です

レトロ化粧本館 東京・大阪 平 尾 賞 平

無上の光榮

を拜す

誠に我が化粧品業界の名譽なり

クラブ香油
クラブ白粉

クラブ齒磨
クラブ洗粉

真御料

白粉やしろであく生地きぢであく
ホシノリと上品じやうひんに色いろの白しろい方かたを御覽ごらん
になつたら其それは皆みなんな今度こんど出來た新化粧料しんけうれう

純粋
増産
牛乳


模範
牛乳

太正塚肥醫藥工場

四町京邊東京

湯牧亞東

(會二五話電)



太平

生命保險株式會社

◎保險案内の御請求を乞ふ

京城支部

(京城黃金町二丁目)

電話一四二〇番

京城支店

(京城東區本町二丁目)

電話一四二〇番

▲
露國開員

▲獨逸側公報

軍はシヤンパーニユに於て依然
を續け英軍も又猛烈なる戦闘

○支那不屈

籌安會帝政投票

○大隈首相参内

曾汝霖梁士詒兩氏は帝政運動の
に充てん爲め亞米利加の資本家

北軍（進入軍）司令官
陸軍大將 載仁親王

參謀長
陸軍少將 蒼野

谷森男、中島、桑田の瓦氏
會を催ふせり來賓側より本田

● 懇談を交し三時散會せり（東京特

農相入京

皇太子殿下には海軍中尉の御

就き殿下には三十日午後一時
兩陛下に御對顔御暇乞言上あ

日鐵道局は一行の爲め貴賓車を

あさだたしやう
あさだくくんだいしやう
浅田大將著

たけはなけいむそうらう
りし立花警務總長は齋機副官を
ここ
三十一日午後九時南大門驛著列車

●駐支和蘭公使來京

三十日夕臨時急行にて
鐵道協會員の一行は共進會開
ます、なか／＼賑か

圖師民嘉、本山彦一、阿部浩三十一錢八厘にして
云ふ御歴々同銀約百五十名何十九萬一千二百六十

比較的單調な京釜線の眺望も
目新らしく見えた様子で車窓よ

野は稻の垂り穂の實
豊かに、まるで内地と
露貨下

「私は久しく朝鮮に來なかつた
に來た時はまだ昔と云つて宜し
く

十月一日
十月一日
十月一日

「深い」と云つては窓外を眺める
發賣を開始すること

彼の立派な釜山の大棧橋から急を達せしめんとす
満洲まで直通することが出来る
周遊券は朝鮮にて

合此上も無し事と思ふ
必要な事でしょう、去りて馬越
北京、南口、南京、上海、張家

「ハイ、エー京城へは五
符を先にするも自由
符を求め得べく支

間を滬寧鐵道にて上海より日便が利く然し汽艇運送に便し船會社の汽船にて下關に出て發仁川より六十餘里あり

日支巡遊 は日本郵船會社の
は航路乗船券所持の一等船客が其
外には二十餘哩の

△巨大なる市
船の上海又は横濱出帆期日迄に
陸路鐵道に依りて朝鮮、滿洲支那
急を要せぬ貨物の

緊急行列車に有効にして（寝臺車）
 乗車するときは別に之が料金を要
 であるから水底の微

府令四件發布十月一日の

朝鮮水先令施行規則(全文七十一條)
朝鮮水先令試験規則(全文十一條)

養育金六萬三千四百九圓四十九錢一厘
 歳入不足
 廣明英九郎氏(一)
 聯隊長)七日後八時
 て赴任の豫定
 葦濱忠太郎氏元

漢江遡航談

外なものごのみ思ふのは誤りであ
 中には立派な船の通ずる有用なる
 ▲幸川正孝氏 船主
 ▲佐々木源之進氏
 ▲前田信兆氏 光州

新莊公司

法亦一新機軸を出し、
百年にして天明
 一百年にして明治の初日影
 四季を十二ヶ月に別
庶幾くは以て此集に賛するを得ん
 卷中數十個所に、爲山
壽伯の奇愛なる非薑三

賣捌所 京城太平通一丁目
振替京城三番

京城日報社代理部

和
始開
去
津
斗
溝
表
御
御
念
記
本
見
四
四
四

大
外
贈與等
直
版

日
五
土
和
田
國
道
義
講
堂

開始せり希望者は何時
にても入學せしむべし
町四二

式新回今
作製を型
型大は高

營

製粉精
類米
用製
研製
粉造
造磨

機油各種
（說明書附呈）

(電長二一六八番)

直輸入元
曾我商店出張所

(元長二一六八番)

付 篩 キ 磨 型 號 第



號八第型號七第型中式新回今
白精の機本りせ入軸作製を型
しな差大と型號一第型大は高

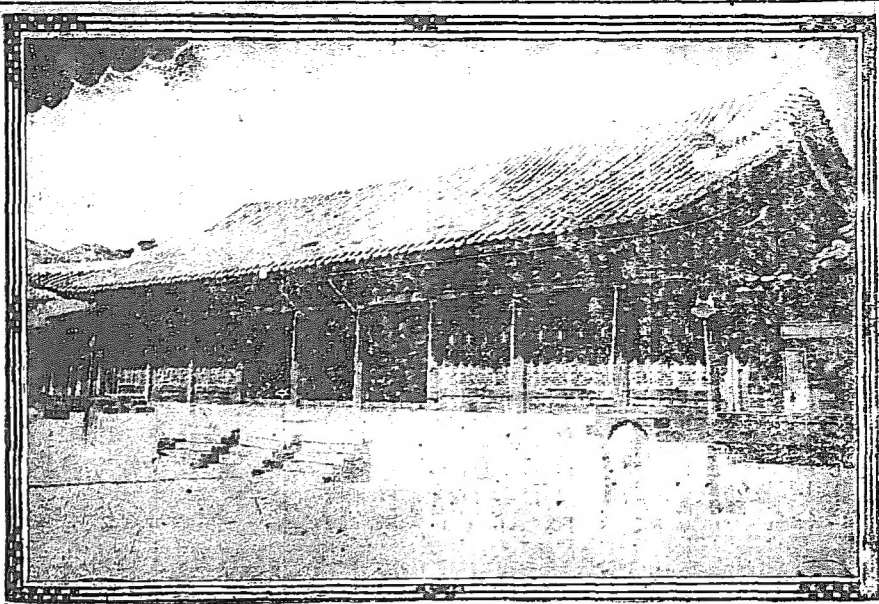
目 科 業 營

米國製最新式
エンゲルバルグ摩擦精米機

本機に六型あり

（說明書郵呈）

十月三日... 皇の電報を呈し出す... 買切り... 皇の電報を呈し出す... 買切り... 皇の電報を呈し出す... 買切り...



開院宮兩殿下台臨

總督府醫院 中央試驗所の光榮
廿九日午後... 開院宮兩殿下は午後三時三十分... 總督府醫院 中央試驗所の光榮... 開院宮兩殿下は午後三時三十分... 總督府醫院 中央試驗所の光榮...

曉雲を破て飛べん

開會式の日龍山練兵場の壯觀
帝國飛行協會の飛行機三機は三十日午前中... 開會式の日龍山練兵場の壯觀... 帝國飛行協會の飛行機三機は三十日午前中... 開會式の日龍山練兵場の壯觀...

飛行機の觀覽
共進會飛行機は... 飛行機の觀覽... 共進會飛行機は... 飛行機の觀覽... 共進會飛行機は...

祝へ此日、祝へ此夜
畫は國旗の波、夜は彩燈の流
祝へ此日、祝へ此夜... 畫は國旗の波、夜は彩燈の流... 祝へ此日、祝へ此夜... 畫は國旗の波、夜は彩燈の流...

紅提灯を携へて
不夜城の町をめぐりて
紅提灯を携へて... 不夜城の町をめぐりて... 紅提灯を携へて... 不夜城の町をめぐりて...

試飛飛行がある
つた多数の觀客は格納庫を満す
試飛飛行がある... つた多数の觀客は格納庫を満す... 試飛飛行がある... つた多数の觀客は格納庫を満す...

大提灯行列團と本社
皇の御幸... 大提灯行列團と本社... 皇の御幸... 大提灯行列團と本社...

家庭博覽會
家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會...

祝始政記念日 家庭博覽會
明治天皇御眞影... 祝始政記念日 家庭博覽會... 明治天皇御眞影... 祝始政記念日 家庭博覽會...

家庭博覽會
家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會...

乃木家の家寶
新伯爵家に引渡さる
乃木家の家寶... 新伯爵家に引渡さる... 乃木家の家寶... 新伯爵家に引渡さる...

今日の日演藝館
今日の日演藝館... 今日の日演藝館... 今日の日演藝館...

鐵道大競走
鐵道大競走... 鐵道大競走... 鐵道大競走...

家庭博覽會
家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會... 家庭博覽會...

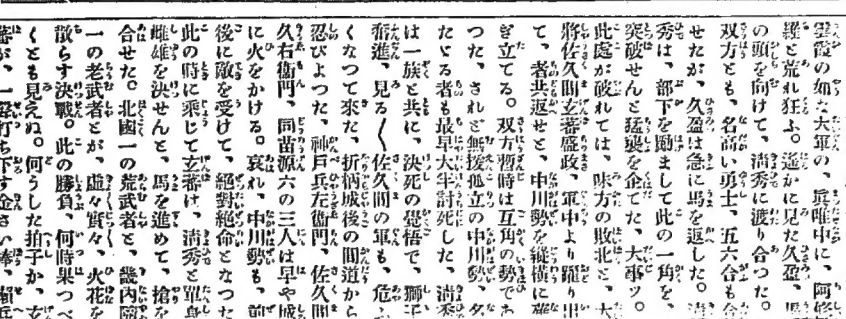
H.H. 此商標を附しある ストローは責任ある 證なり 大阪 ヒシヒラ商會 各地金物店に販賣せり

月刊 世の中 新記事五十 口繪百十 世の中を達觀せる 三宅幸田博士 著 新に生れ 萬人向 雑誌 (三三四三度口繪版) 世界世之業 谷北日京東行

大衣 十月一日ヨリ 五日マデ 地方ヨリ御注文 直三御送り申上候 三電 澤山 見切反物

齊衆良人

與之の津連が來た。さては、手早に物の具して、櫓に駆け上つて見る。さ、朝霧の中から、最も山々谷々に佐久間の旗差し物が満ちて居る。スリと、防敵の準備にかゝつた。潮兵御目ら、三千餘人を指揮して持場、手を嚴重な固め、先づ鐵砲で寄せ手を打ち驅した。が、敵は大量の若は少しし、見る／＼内に、佐久間の手兵は、敵の如に、外拂を掻きとつて来る。寄せ手の先鋒、拜郷五太衛門久澄は、まづ先に馬を進めて、必死に下知して居る。



「其れ結構、一應叔父御にも、將監參れ……」玄蕃は、將監を伴うて、勝家の陣に行つた。

「扨て叔父御、委細は將監から、兎に角斯く永々との對陣、其の内狼狽引つ近して御坐う、後悔もせんない事、其處で、幾ヶ條の敵には、三左衛門を押へさせ、淺見但馬には小川十佐を、五左衛門、七衛門、權兵衛と玄蕃が、潮兵衛の大岩山へ、高左右近の陣は、五兵衛、差次郎、彦三の差し向ひ、一兩に攻めかたれば、狼が手下、持場々々を氣づかふて他を救ふ隙もないワ、此の機是非に……」玄蕃は面に殺氣を帯びて居る。

して、天下に恐れもない盛政が、之れ程の主眼、今は勝家も、拒絶は出来ぬ、若し斯を機に振らば、何を仕出かすかも、知れぬ玄蕃もまつた、此の計事、あながち、悪いと云ふでもない。

「左程まで、許す、出陣のせい、而し玄蕃、一旦潮兵衛が陣、攻め落しな時は、必ず共に、直に歸陣のせい血氣にはやつては、後日の大事、宜いか、其れ承知な下知出さうワ」「旨、承知、必ず反か、歸陣のする中川の砦、明日火の上らば、玄蕃、入城とお察し……」

「可いワ、行けツツ……」勝家も、歸陣した。玄蕃は、行市山の陣から、左衛門が左りにかはして、ヒラリと馬から飛び下りた時。

「玄蕃殿勝家内、近藤無二」と名乗る者がある、潮兵衛が、ツト振り向く所を、すかさず組み付いて、右の腕に腋下に二た刀、鎧のすきまから刺した。清季は此の叫聲の出来事と、急所の傷手に、其儘斃れた。玄蕃は、馬上で、躍り上つて喜んだ、大將が失つた中川勢は、最う散り、大岩山と大岩山の砦を占領して、三度勝関を揚げた。

而し、此の勝関が、却て北國勢の、大敗北となる原因となつた。之れから、急々勝家が、大敗北となる。

貴下きかの座右ざいうに呈ていす

此法よく記憶力を増し頭腦を明晰にすべし


れ拾錢と云ふ天下絶無の破天荒なる
約値直段で拾貨し其土今回は御大典
奉祝用萬歳藤及十四金縷金色自在
の不思議金指輪の二種を一反毎に注
兩進呈する山なればセル地は殆んど
只同様の寶物となる事とて日々大に
を加へ様々大盛況を極めつゝあるに
希望の向は同席施ハガキにて男
年地記載注文せば色柄見斗代金引

第一に心懸くべき事


秋は快よく天下を訪れて萬物は新生の呼吸をする「此秋こそは大活動しよう」「此秋こそは「仕事しよう」とは何人の口にも懸かるゝ熱情であるが實にも三伏の夏にぎやけた腦やぐだれた身體を掃除した人々にとつて秋風は天気に應答である。秋になつて

第二に覺るべき事

であるから此神系衰弱氣味一體に血色が悪い、それで何身説か倦怠くて仕事に氣が事に飽き易い氣が變り易い倍むら氣である、それに極端に穿鑿好きになつたり、深くなつたりする、耳鳴は亦是に


 改正書目進呈
 淘宮、九星、易學
 家相、人相、姓名
 學等の書類専門に十數年來發行
 し來り候改正書目録出來候に付
 無料贈呈仕候間御申込被下度
 東京神田區錦町二の三
 永樂堂
 店書

で際際と一番大に成す處あるべき密
ではなから、處が此清涼の秋となつ
ても尚夏同様に引續いて臘の活力の
回復しない人即ち臘のぼやけてゐる
に困じてゐる人が大分あるや、之れ
以前より臘の悪い人が亦は夏季に於
て臘の健康を害した人かであつて此
の仲を連發したりするもの、其一
又氣が滯つて讀書の出來
計算事を面前に感じたり思ふ
つたのや判斷力が不思議な位
くやうなのは病勢が餘程進ん
てであるから、治療を急ぐべ
き、其初期に於て何を喰へ



オイシ

七歳より下の子
コドモがぜいねつ
特效薬

山稻内 主 放
口垣田 かねつ
区匠藥 齋藤 康夫
學醫學 池田 敏郎
士士士 マラリヤ熱
方証監 百日咳 其
綱明修 他熱 切

永備 丹平商會
大阪東区

りあ店番各、安十三、安十二、安十價

あるから決して輕々に思ひなしてはいけな^い速かに治療すべく心懸ける必要がある其爲には既に醫學士常持^た爲治氏の一般無料進呈しつゝある治療書もあり亦同氏の發明になる有名な健腦劑レーベンもある事であるからあれこれ迷はず早く服用して治療するがよい

第二に知るべき事

腦が悪い——つまり腦病神經衰弱^{なうしじけつ}延から来るので女では俗にヒステリーと云ふ其最も多い症狀は矢張り頭痛である頭内腺腦として、頭が重かつたり後頭部がチク／＼痛んだり腦の片側のみ痛むとか或は天氣其もので鈍く頭痛がするとか實に不快なものである之等の苦痛を除去するには常持^た醫學士の健腦劑レーベンが最も偉大な

整だつたり視力が衰弱れたりがあるが其際は胃病なぞと誤らぬ此病氣は十中九達自分と自覺せぬものであるから上上をよへ參照して其の症狀でもあつたら速時レーベンを服用である學生事務家投機家教育論生活上常に精神を烈しく使は必ず此病が有かに注意する

第四に成すべき事

生存競争が劇しくなれば必ず此病氣であつて俗に文弱^{ぶんじやく}と云ふ位、症狀愈々進んで衰弱^{じやく}消滅して根もない悲觀厭世^{ひくわんえんせい}のはれる其人は極めて亡國的なつて了ふ即ち現下識者の大問つてゐる所以である、常持^た醫學

流經新藥
レスノリン

月

やと

まより四五
 月以内に効
 できん効に
 はれ其流經

用の確實なると他藥に優越す●藥
 一瓶壹圓 送付三十錢 切手一割増
 書三錢 切手封入申越進至
 大府市丁區會根發行所常盤藥院
 船上一丁目三六

振替大阪二八三七〇

子宮サック

甲一乙七十
 密送料
 ゴム製にして婦人衛生欠くべから
 る品にして月經時には經水の漏洩
 防ぎ立居を便ならしむ●郵券一割
 打製品

ルーデサック

純良
 打製品

三打九十錢 送料八錢代 金引替廿五
 大阪市九條二番道三番
 振替大阪一七〇三三番

杉本

痛を致す。其の痛は、頭部、頸部、胸部、腹部、四肢、全身に於て、
 一處に於てのみならず、多量に於て生ずる。此の時、患者は、
 頭痛、眩暈、嘔吐、泄瀉、腹痛、腰痛、手足麻痺、全身倦怠、
 精神不振、食欲不振、睡眠障害等を生ずる。此の時、患者は、
 非常に苦しい状態に陥り、治療を受けるに至る。此の時、
 医師は、患者の状態を観察し、必要に応じて検査を行う。この
 検査の結果、患者が「脳腫瘍」であると診断される。この時、
 患者は、非常に驚き、悲しむ。しかし、医師は、患者に勇気を与え、
 治療を受けることを勧める。患者は、医師の言葉を信じ、治療
 を受けることに決意する。そして、手術を受けることになる。手
 術の後、患者は、回復を遂げ、健康な生活を送ることが出来る。
 このように、脳腫瘍は、非常に危険な病気である。しかし、早期に
 発見され、適切な治療を受けると、多くの場合、治癒することが
 出来る。したがって、定期的な検診を受けることが大切である。

番州府志

多木製肥所

小兒
內科
外科
(也醫院入)
梅毒、淋疾、皮膚病、痔、肛門病、腦耳、喉、眼、喉、病
時り入口診、主夜時午後診
京橋區町、前庭二七三番(一)

醫學博士
國醫總病室
院長 島崎龍一

新刊書御案内

井上英和大辭典井上 一、二、三、四、五
新說無機化學石田 一、二、三、四、五
教育法真髓河野 一、二、三、四、五
算術教學法河野 一、二、三、四、五

幕府瓦解史熊出我城 一五
○金色後又(縮刷)紅葉山人 一二
刀劍鑑定備考羽室國史 八
藝苑之哲學島田石坂 五

○小說 鴨 佐藤 和 六
○男女對等 論 廣生 二
○色 鳥 夏目 藏石 一、二
○花袋 全 集 田山 花袋 一、八

○噫 無 情 黑 岩 游 香 一、二
○和 漢 名 詩 選 松 浦 政 泰 一、四
○修 養 小 品 加 藤 喺 堂 一、二
○正 し き 用 字 法 大 町 耕 月 一、八

○批評の要訣上田小山、七
○兩京去留誌徳富猪一郎、五
○農家經濟の話山崎延吉、四
○マツチの棒岡本一平、六
○頭を包へて感荷可成

○新式日英手紙の書方 前川寅之助、四

汽船釜山出帆廣生

○門司、神戸、大阪行
小倉丸 十月 五日午後五時出
○元山城津浦鹽行
小倉丸 十月十四日午後十時出

○門司、神戸、大阪行
立神丸 九月 日後五時出
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 十月 七日後十時出

○元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 十月 七日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十月十三日午後六時出

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大眞丸 每月三日九日廿日
廿一日廿六日 午後出
寄山岸埋立新町 大池回漕
木船取扱店

尼崎汽船出帆

大 有 九	君 代 九	君 代 九	君 代 九	君 代 九
第二太湖丸	第一太湖丸	第一太湖丸	第一太湖丸	第一太湖丸
九月	九月	九月	九月	九月
五日	三日	三日	三日	三日
午後五時出	午後四時出	午後四時出	午後四時出	午後四時出

土海丸 日役四時出
仁川海摩通二丁 高杉回漕部
目電話五十九番

東船會舟命船芝罘、大連行
共同丸
 九月 一日 前後七時入
 十月 一日 前九時出

大津にて青島行定期船に接續客共前船
と同船運賃にて通し輸送御取扱可仕候
城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第一版 九月 日 後九
九月 日 出

西湖津沿岸各港を經て雄基行
（元山出帆）
九月 日 前八時出
九月 日 前八時出
三第 同丸

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目電話二〇八番
仁川代理店 山下 回漕部
春日町(電話二四四七番)
元山代務店 田口 回漕部
番大門電話二六八、二〇一七

京都取次店 河村運送

[illegible][illegible]

見事な高麗焼と考古學者が涎を垂らす考古品に名畫

鍾、銀、香爐、箸、匙子、藥盆、印
經爽、通貨など其の多くは古墳の


や鐵粉を魚眼として精巧を施め他に類例の無きものである又青く落えた雨過天晴の色も高麗燒磁は今に至るまで其の製造を發見せし中には製法技巧の支那白磁に類似しなく地色は共に色色なく共其せるを以て朝鮮産なるを疑ふ人もあ

の海き

▲天晴の色合が 賢に鑑賞家の垂涎禁じ難はざるものなりこいよ猶ほ姉前腰の小盒に秘色せる辰砂の

れど作は無諦朝野のものである。白磁には些の青味を帯びしものと乳白色のものとなり且つ小澤大澤の二種あるれど色は密方により變化し青きは濃

元炭燒、白きは三化炭法を用ふるの
である、殊に黒炭白磁水注の形式
に模したる邊品の如きは我が正

食肉の實物にあらはな
ご同型のものである。
 新たな陳列品
きまじくわらへばつてん めんめん


共進會内美術館の陳列品は第一回の陳列換へを行つた、その主なる部は二階の約蘭部全株の掛換へと階下の東側の佛像を二階の西側に移しそ

の數をも増したのとその後に焼物を陳列し又た二階東側の二箇の大戸棚に新しく總督の印刷

さぞた海印寺藏版の高麗版の大藏經の一部中樞院に保管せるものを陳列した等であるが、繪巻部に所し出来せられた物を一

見するも國分三亥氏の出處下角壁和
齊の「大猶」(百十年前)同じく金得
臣競着の「遺牛圖」(九百五十年前)金谷

有氏の出品李東文の十友圖（九百年前）
鮎貝房之進氏の出品阮室（金正喜）の筆蹟、皆川廣齋氏の同じく阮室の墨蹟、それから風俗繪では蒔葉



郡守の出品になる観茶便歡樂の圖の
平壤風景の中に驕りな
極めし觀察使の遊樂を描

たものや道展馬氏の出品等が、便覧の
 圖の繪巻物等、又書帖では久芳直介
 氏の出品李慶胤路岐の筆になれるもの
 の三百五十年前の繪圖の神化無跡、

色彩の如き實に見事なる出来榮へてゐる、次に茶人などの繪ぶものは繪三島、刷毛三島などがあるが從前之を高麗燒と總稱したもの、中にも佐々木氏の出品露斎の描けるもの、繪が大いに一般の注意を惹いてゐた、その他水越理府氏の鄭誼齋の陶匱、明の圖、工藤莊平氏の宣祖王の墨戲、

其の條を調べて見ると李朝初期の製品も尠からずこの事である、又三島手は開城附近の製品である、

（主に筑海燒）のものよりも、慶尚北
道、忠清南道地方のものに雅味ある
品多く京城北漢山附近のて立派なものである

100-447923

光田鐵工部
電話三〇五號

百

光田造船部

電話二五六番

仁川濱町四丁目

祝共進會開催

輸入貿易商

河野本店

電話三三八番、二八番
電信略號一六
板橋京城一三番

日鮮向雜貨

河野支店
河野出張所

鎮南浦
宜川

平壤
安州

二川本町四丁目

祝共進會開儗

馬山田亞月

志

吉金壹二兩府庄
電話 七六四番

清酒醸造業

馬山 出張所
天安 出張所

穀物貿易商

祝共進會開催

電 話 四 三 三 號

元山水力電氣株式會社

祝
家共
庭進
博會
開開
催催

1. The first part of the document is a title page. It contains the title of the document, the author's name, and the date of the document. The title is "The first part of the document is a title page. It contains the title of the document, the author's name, and the date of the document." The author's name is "The author's name is the name of the person who wrote the document." The date of the document is "The date of the document is the date when the document was written." The title page is the first page of the document and it contains the title, author's name, and date of the document.



An aerial photograph showing a coastal area. A road runs horizontally across the middle of the frame. Above the road, there are several buildings, some of which are marked with numbers. The area below the road appears to be a flat, open space, possibly a field or a beach.



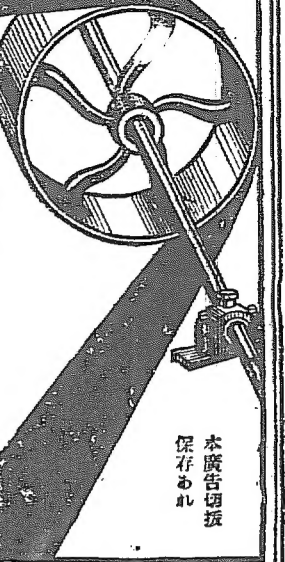
祝家庭博覽會

各地支店
東京 丸の内
大阪 市橋
京都 錦町
名古屋 栄
神戸 三宮
福岡 天神
仙台 青葉
札幌 中央
旭川 中央
釧路 中央
帯広 中央
旭川 中央
釧路 中央
帯広 中央
旭川 中央
釧路 中央
帯広 中央

△相場表御申越次第送呈

蒲團 諸綿
蚊帳 麻布
毛布 膝掛
大阪市本町三丁目
今西甚五郎商店

専門製造
革車、シャフト
メタル、カツプリ
製材機、精米機、調帯、ベレンス
其他附屬品並各種鑄鐵真鍮金
鑄物及鋳物一切
弊商會は傳動機製造業者として十數年
經營能に在り處處幸に各地方諸會社及需用
家各位より多數の御命を蒙り居漸次
隆盛に相向ひ候段偏に御愛顧の賜と奉
謝候益々弊店主義たる製品の確實
期日の迅速並に價格の低廉を發揚致候
尚ほ製品多數貯蔵致居候に付何卒多
少に不拘御用命程伏て奉懇願候
向直段表御申越次第送呈
大阪市南區内安堂寺町二丁目
寺本商會
第一工場 内安堂寺町二丁目
第二工場 南區南高岸町南海線通
第三工場 南區南高岸町私設寺本商會
電話南一五七三番
電話南四五六一番



浪花みやげ
看板
大阪京町堀
楠本の
電話土佐堀九二番
番五九五一販替接

商標
録登
目品業營
自働車
人力車
タイヤ
ゴム管
各種ゴム製品
介紹品製
弊社製品は始政五年記念贈物産共
進會参考館内に出版あり
親覽の榮を賜はらんことを
弊社製品は會期中賣店に於て特價を
以て御買す實くは多少に不拘御用命
仰付けられんことを
東京出張所
大阪府西成郡浦江
電話土佐堀一八八番
電話南一五七三番
電話南四五六一番

活版製造
活版母型製造
活版機一式販賣
附屬品一式販賣
大阪市南區長堀橋筋二丁目(清水町角)
標商A 青山進行堂
活版製造所
電話南九七七番
電話南九七九番

帝國軍人教育會
本會は今秋舉辦せ給ふ御即位式御大禮拜載の爲
出京せらるる人に対し左の優待方法を設けたり希
望者は最寄分國事務所又は支部へ申込あるべし
帝國軍人教育會接待部
本部 京都七條東本願寺御用地内 事務局 大阪中之島三丁目
優待
●大興奉拜 本接待部特設の場所にて奉拜
●西本願寺 御即位式御大禮拜載の御下
●伊勢大廟 御即位式御大禮拜載の御下
●指定旅館 模範的の旅館は各地に設けあり
●汽車汽船の特別割引あり
●御即位紀念の兩陛下御東遊の
●各地參拜、神佛開關に於て記念品の下贈あり

ポンボロヤチン
世界一の
少額の費用
町川境南區西市阪大
電話南四八四二番
所作製ポンボロヤチン

具營陣・具器ムーユニミルア
式一品用道水
金地・線・板ムーユニミルア
盤械機製鏡眞
所造製ムーエニミルア本日
店賣販京東
町油通區橋本日市京東
店賣販阪大
目丁壹町壩區南市阪大
茶葉
富貴園茶館
大阪府門外通四丁目
電話南一五七三番
電話南四五六一番

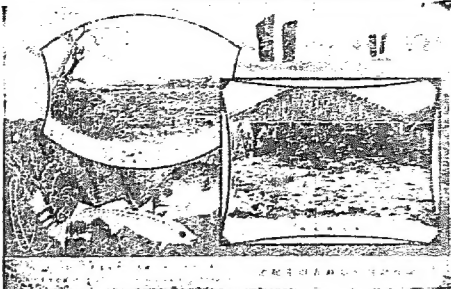
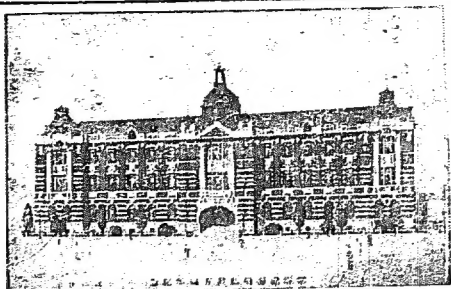
旅を終りて

朝鮮、滿洲、臺灣三鐵道の踏破をすべく九月十一日午前八時四十分大門嶺を發し先づ元寇を元山に成鏡嶺の終點文川を究め邪返しに仁川を訪ひ敵行別府君と永泰に分れ北上して平壤から鎮南浦をき更に北上安東で安泰嶺に乘替へ家に右柳撫順を訪問しに引返し安東で長春行に乘替へ長春市街大建設

■長春市街の大建設

に發き直に南行大連に到り旅順に大連から商船哈爾濱大に便乗し門司に赴き船を替へ商船亞米利加

神崎憲一



京城郵便局の記念繪葉書

で基隆に渡り直に南下臺北、臺中、
南を経て打狗に到り數十分にして
返し臺北に來り淡水線を恢復し
陸から郵船運輸の客とに接し
馬車運給給客を數倍に増やし
上陸、馬山を見て引返し京京本線
大田を來て湖南線に入り裡より
山に行き更に木浦を訪問、之で
の訪問を終り南大門に歸着たの
十八日午後八時二十分、經過海
數五千八百八十餘哩此間費やす

四十が乃ち四百四十三時四十四
時に勿江急進した通過て各地の男
共に走馬燈の如く眼裡を徂徠す
過ぎない。然も各地から廻られ
告や調査の類も裏面深々窺して
取出しもしない付様のだなか
り長も唯行き違ひ勝ちである
第一に記さねばならないのは各
地の好意である。鐵道船舶係
々からは勿論其他各地の同業者
並、行きづりに如何に世話した
も限りなき好意を表してくれ
事を感謝したい

對敵に出来ない此度の行に依つ
 たいろ／＼の感じのうち船車運
 至便に對する實驗は必ず擧られ
 ならない旅慣れのない客が次第に
 失て旅行は楽しいものと思ふ氣を
 成せる第一のものは船車連絡設備
 也、其時間の正確な事である、其
 事とも其れは當然な事である、之
 こそは船車連絡第一の要務であり
 てそれは又旅客をして第一の信
 來させる此上もない事であるが
 が、今更ながら出發前の不安や危
 が笑ひたいと思はせられた、
 車汽船を利用して旅行すると云
 を苦痛とせず快樂とする人の多
 つた事も幾度か見聞させられた
 を快樂とすると一歩を誤て苦痛
 ざる事なれば總て一國民の海外發
 至大なる嚮を興へる素質である

船中日本婦人の多


は能く深く得ても留り居るに勝る。外遊歸人が如何にも樂しげに歸りて、書物と共に、毎食堂を缺かぬ。度度は全く此模範の奉養を備へたものと思はせられた。嘗て母親に行して、誠に思つた事は母國に在り人々に相當の地位あり資格あるなり乍ら朝鮮に對する智識の淺く、更に其處を深うしたる母國在留が朝鮮、滿洲、臺灣に對して極むる所の好きのみならず

▲寧ろ惡意に誇張した解釋をしてゐる例へば臺灣は四時炎熱酷く如く常にマラ

其の要は、船隻を捕め、信を失せ、地味に
 てもあるかの如くに思惟してゐる
 然るに事實は正に相反し、最其に必要
 にも高くないではないが、夜と共に、雨
 の思ひより、薄いては、元氣十分に恢復す
 る機がある殊に、天氣多く晴間、不
 断に貿易風吹き、四時、花鈴を、五鼓二
 の收獲あり、正に樂園であり要する
 留居、留民、其殖民地の事情に通せ
 殖民地に在る者を、徒らに卑下し、
 得ずるの傾きがある強ひて言はば、
 徒必すし、其餘裕ある生活を爲すべ

夜間共進會

ねは絡の得
消え
起さ
の完
言は
れこ
然し
粧を
其れ
慎や
此汽
事な
旅行
とせ
思に



21

てゐる。書し
に旅する
留の
人々で
総領事
は更に
の士
を以て
して

うでもなく家々悲惨な生活状態
年々口々にのみ悪言を放つて自
しとして居る是れ

全く母國と殖民地との餘りに疎隔してゐる爲めで
必要は其接近にある事情を知り今今
知らせあふにある其責任が何れ
るか殖民地の官民よろしからざ
るか殖民國の官民よろしからざ
るかの限りでないが兎に角今國開



夜間共進會入場券賣口の群集

穠情眼裏忘れざりし車窓秋晴る
 海山五千里十八疊の大飛躍
 を祝す
 水 氷
 靨化して大鵬萬里秋高し

歌

〇オンドル 詠

八月二十日 野矢の降つ
 一寸の雪降りまた、それでは五人の降つ
 けが此山入り込めば非常に賑はふ。二階
 留に於ては下三階より上へ来た。云々
 江津へは既に降雪を紅に染めたる云々
 ぞと脅へ居ます。九月十五 彦昌に於て免

花野 花野 鹿

花野 野矢を工夫の群れの淋し唄
 馬も歌聲を聴く花野月に晴れて
 手掲めりに抗道出て、隣ふ花野

花野山の丘に鳴る教會の鐘
花野果の果樹園へ花野渡す
花野幾日を駈け來り驛方に生ず
終點驛は水車のみ花野驛に陽に
汗蒸気裡らせつ湖を曳く花野
燐香に樹山暮るゝ花野の明り
三月月 鴨
ポストそこも騒登る三月月の街
育舍園ふポブラに三日の月澄々
夜勤を鐘る三月月の町は輕舟の月
鳥籠に樹の薄暗を三日の月
三月月に風呂焚き驛ヒンとあり

○ニッパ石上鯨

王學士	藤野太治郎
王學士	榎智一郎

凡そ石鹼は、工業用洗滌用洗滌用、浴用化粧用等各用途に従つて其種類を異にす。雖も、而かも皆等しく遊離の亞硝酸基なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼ならざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黒を眞ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論すべからず。

○三ツ石

は化學上の純實驗たるのみならず
なほ左の性状を具備す。
一、原料が精選し、脂肪に香料に
荷も刺激を感じすべき虞あるもの
のを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
二、細き沫を生ず、適度の溶解
性を備へて能く水にも溶解し
而かも浴室に用ひて半途に溶
け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し
經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌—全國到處の藥舖。洋酒食料品店。小間物店。化粧品店。

本舗
ミツワ石
ミツワ椿
ミツワ家
ツツワ庭
下口ツプス
軒
發賣元
○
丸見屋商店
電話 〇三三

[illegible]

料御貴高

粉白顔美

生れつき色が白いやうに附く... 學者の製へた白粉

特異の品質を以て高貴御料の恩命を拜せる美顔白粉は

其後復又多數の貴族方

有難き恩命を賜ふに至れり光榮是に之れに過ぎず

閑院宮家 東伏見宮家 竹田宮家 北白川宮家 久通宮家 梨本宮家 華頂宮家

松川珍金西仁甘樺與戸渡土柳中淺鍋前佐黒細一大岩
露 御 々
平上田子尾禮寺山平田邊方原門田島田木田川條山倉
子子子子子伯伯伯伯伯伯伯侯侯侯侯侯侯侯公公公
爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵爵
家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家

西津小山山ブ今稻田鶴渡三豐中園團高外交官山博士
本 リン クリン (天) 井家村田千井川是田 公 橋 家
邑田山直東 (天) 井家村田千井川是田 公 橋 家
家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家家

宮家を始め

上流婦人 奉り

美顔白粉は、事門學者の智識を傾けて苦心創製した我が邦唯一の發明白粉である事

美しい光澤と、純白の色、それに強い被覆力、此の三つが揃つて、生れつき色が白いやうな色艶に附くこと

桃谷研究試驗部
顧問 丹波敬三氏
顧問 山本洋二氏
顧問 小磯善次郎
顧問 小磯善次郎
顧問 小磯善次郎